

一般質問の掲載について

一般質問の記事は、決められた文字数のなかで、議員本人が質問・答弁の原稿を作成し、原則、原文のまま掲載をしています。

ここに掲載できない質問答弁は、八女市ホームページ等でご覧ください。

一般質問

質問者	質問事項	掲載ページ
牛島 孝之	1 公立八女総合病院の今後について 2 八女市の職員としての服務規程及び庁舎内の室温について 3 八女市の教育及び文化に対する考えは	7
高橋 信広	1 人口減少対策について ～まち・ひと・しごと創生基本方針2019に向けて～ 2 行政改革について	7
石橋 義博	1 新庁舎問題について 2 公立病院の問題について	8
堤 康幸	1 免許証返納と高齢者運転者支援について	8
青木 勉	1 第4次八女市総合計画（後期基本計画）について 2 福岡県立ふれあいの家南筑後の活用方法について	9
松崎 辰義	1 介護保険について 2 交通安全対策について 3 同和行政について	9
大坪 久美子	1 高齢者のごみ出しの支援について	10
三角 真弓	1 行財政運営について 2 ゴミ回収の在り方について 3 各支所での生活相談への質の向上について	10
森 茂生	1 林業振興について 2 国民健康保険税について	11

公立八女総合病院の新築移転について八女市の考えは



牛島 孝之

答 企業団の提案を踏まえ協議を進めていくことになる

問 公立八女総合病院についての、市民説明会を開く考えはあるのか。

答 必要があれば、公立八女総合病院が主体となって説明会を開催されることを考えている。

規程について
八女市の職員としての服務規程について

問 職員の服装についてのどのような規程があるのか。

答 基本的な考えとしては公務員としての信頼を損なわないよう、節度と品位を保ち、清潔感のある服装を心がけることとしている。



問 八女市の教育及び文化に対する考えは

答 文化人の顕彰に対する考えは、地元で眠っている文化人等について市民の皆さんから情報提供していただいて、調査・研究を進めていきたい。

問 地域に埋もれたような方、そういうことをきちっと顕彰していくことが必要ではないか。

答 次の世代に継承していく事、この事は極めて大事なことだと思っっている。十分教育長と話をしながら進めていきたい。

関係人口の創出・拡大

問 結婚サポートセンターを利便性の良い場所への移転について協議されているのか。

答 協議会の中では、問題点の一つとして捉えており、筑後市の交通の利便性が高い場所の移転を検討している。

問 当市にとつての関係人口とは。

答 具体的には、市外に住む当市の出身者、ルーツがある人や当市に何らかの関わりがある人、過去に勤務、居住、滞在を経験された人など捉えている。



高橋 信広

第2期まち・ひと・しごと総合戦略に向けて、どのような考えで取り組むのか

答 今年度、第1期総合戦略を検証しながら、第2期に着手したい



問 最たる関係人口に当たる、親が当市に住み、子が市外住居の人が、親元に同居か近居する場合の補助金を検討できないか。

答 効果、コスト等を含めて、予算編成に向けて事務的な検討を進めたい。

市民会館と文化会館の方向性は

問 指定管理者制度の公

答 表はいつになるのか。近隣自治体の公表状況を踏まえ、可能な限り早い時期に公表する方向で検討している。

問 指定管理者制度導入に向けて、市民会館と文化会館の調査・研究の結果と方向性は。

答 調査・研究が終了し、関係協議を行い、今年度中に方向性を定めたい。

達額の削減を

問 電力調達額の削減対策として久留米方式があるが、調査研究に行ったことはあるのか。

答 久留米方式は知っているが、この件で伺ったことはない。

新庁舎問題について、庁舎周辺の防災対策が不十分ではないか

答 十分に検討して対応していくつもりである



石橋 義博



八女市役所本庁舎



公立八女総合病院

問 8月の豪雨で新庁舎予定地の周辺が冠水、浸水被害で庁舎に近づく事すら出来なかったが、ここは従来より被害地で住民より冠水、浸水対策を求められており、その中において防災本部としても拠点となる場所が新庁舎となるのはふさわしいと思えないが。

答 新たな場所への移転の考えは持っていないが冠水、浸水に対しては相應の対策を施し、そのための検討は充分にしている。

問 街中の空洞化や活性面では懸念もあるが市は総体的に考えるべきではないか。

答 様々な事案に取り組み、検討しながら進めていきたい。

問 8月の豪雨で新庁舎予定地の周辺が冠水、浸水被害で庁舎に近づく事すら出来なかったが、ここは従来より被害地で住民より冠水、浸水対策を求められており、その中において防災本部としても拠点となる場所が新庁舎となるのはふさわしいと思えないが。

答 新たな場所への移転の考えは持っていないが冠水、浸水に対しては相應の対策を施し、そのための検討は充分にしている。

問 街中の空洞化や活性面では懸念もあるが市は総体的に考えるべきではないか。

答 様々な事案に取り組み、検討しながら進めていきたい。

問 高年齢者運転免許証自主返納事業の状況は。

答 平成30年度5月に開始した事業で、返納者数は、平成30年度が426人、本年度7月までに161人、合計587人である。また、交付したタクシード数券の利用は、平成30年度末で利用率が19・15%、今年度7月末で21・72%となっている。

問 この事業は、高年齢運転者の事故防止という点では究極の策であるが、返納後の生活等の実態調査はされているのか。

答 返納者のその後の状況ということでは、まだ行っていない。

問 免許証の返納は、心身ともに影響が大きい。心豊かな生活を維持するために、安全運転支援装置取付等、返納前の支援が重要であり必要と考えるが。

答 支援装置の安全性の見極め、他自治体の状況を見ながら取り組みを深めていく。

問 免許証の返納は、心身ともに影響が大きい。心豊かな生活を維持するために、安全運転支援装置取付等、返納前の支援が重要であり必要と考えるが。

答 総合的に自主返納ができる環境づくりを、担当部局に十分研究させたい。

問 産業振興や集落運営において高齢者の役割は、非常に大きい。他自治体では支援を始めているところもある。効果が期待できる具体策が求められているが。

答 総合的に自主返納ができる環境づくりを、担当部局に十分研究させたい。

問 免許証の返納は、心身ともに影響が大きい。心豊かな生活を維持するために、安全運転支援装置取付等、返納前の支援が重要であり必要と考えるが。

答 総合的に自主返納ができる環境づくりを、担当部局に十分研究させたい。



堤 康 幸



県道の影切り作業中

答

今後、総合的に考え、事業導入の際には研究していく

高齢者の充実した日常生活のためには、免許証返納前の支援が必要では

国道3号バイパス構想の整備促進の 取り組みと現状について



青木 勉

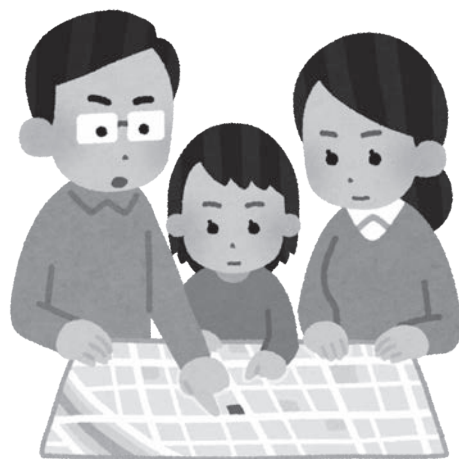
答 重要な課題として早期実現に向け要望していく

問 防災体制の充実に
いてどのような取り組み
を考えているのか。

答 防災計画の中で、防
災拠点整備を今後、十分
検討する。

問 市民提案型まちづく
りの予算と実績はいくら
か。

答 今年度予算700万
7千円、昨年度の実施個
所12件で助成額640万
5千円である。



防災公園を誘致して災害に強いまちづくりを

問 市民活動の育成でN
POなどの団体数はどの
くらいか。

答 現在、市内のNPO
法人数は29団体である。

問 県立ふれあいの家南
筑後の存続と活用方法は
。

答 福岡県より、正式に
更新の説明や協議がない
ため、八女市の考えを述
べるのは控える。

問 消費税が増税される
前に、食料品をはじめと
して、いろいろ物が値上
げされていて高齢者世帯
には厳しい状況になって
いる。これをどう捉えて
いるのか。

答 消費税増税に先立っ
て、生活必需品等の値上
げが相次ぎ、低所得者層
の介護保険料に対する負
担感は配慮すべきものが
あると思う。

問 認識は一緒だから、
低所得者に対し、保険料
の減免を拡充すべきでは
ないのか。



松崎 辰義

答 制度の運営を考える
と、慎重に判断する必要
がある。

問 今回は今年度分の保
険料の減免をお願いして
いる。

答 担当部局と研究して
結論を出したい。

人権問題について

問 意識調査を5年毎に
おこなっているが、人権



答

八女市介護保険事業計画等
策定委員会の中で検討していく

今後、介護保険の保険
料や利用の減免について、
十分検討すべきでは

答 全般について8項目、同
和問題について6項目、
さまざまな人権について
6項目と同和問題に特化
した内容になっているの
ではないか。

答 今から内容について
は、他自治体、県や国の
状況等を見ながら検討し
ていく。

介護が必要な人や障がい者の家庭ごみの個別回収をやるべきでは

答 広大な本市において現在のところは考えていない



大 坪 久 美 子

問 地域においては住民、行政、関係団体が協働し、多様な福祉課題への取り組みを進めることが求められている。年々高齢者のみの家庭も増え、収集所まで持っていくのが困難になったとの意見が多く寄せられるようになった。このことは地域包括ケアシステムから考えても、環境課だけの問題ではなく、行政全体で取り組む時代になってきていると思うが協議は進んでいるのか。

答 地域振興会議等の中では、ごみ問題に関して

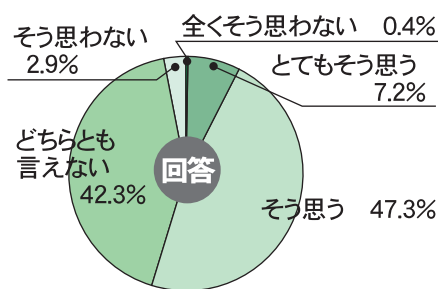
問 個別訪問を考えた場合、特化した形での話はあつていない。

答 執行部としても問題提起が必要であればさせていただきます。

問 ただ回収するだけでなく、ごみが出ていなければ声かけにより安否確認にもなるのでは。

答 全国の例も調査しながら方向性を見出しているかと思っっている。

質問 高齢者へのごみ出し支援は、自治体が取り組むべきだ



※環境省の資料を基に作成

問 合併10年目を迎えた本年、市の財政を1人当たりの借金、貯金に置き換えた場合の金額は。

答 平成30年度の決算ベースで借金が1人当たり41万6千円、貯金が29万9千円となる。自主財源が全体の32.4%、依存財源が67.6%である。

問 令和2年に国勢調査があり人口減少による地方交付税の減はどの位か。

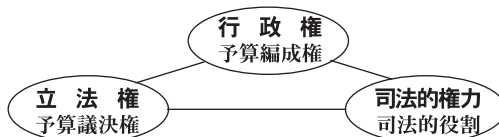
答 推計であるが、約4千100人減となり1人当たり約16万円の地方交付税が減少する見込みである。

問 今後北海道二セコ町のような「もつと知りたことしの仕事」という



三 角 真 弓

地方財政における三権分立



- 制度…監査委員制度、オンブズマン制度
 運動や参加…①監査請求、直接請求、NGOオンブズマン、行政訴訟
 ②予算・決算特別委員会における議会ウォッチング
 ③労働組合の自治研活動
 ④住民の手による財政白書づくり
 ⑤自治基本条例や市民参加条約づくり
 ⑥マスコミやミニコミによる自治体財政に関する記事の掲載

※自治体研究社出版「市町村財政分析」より引用

答

新たな地方債（借金）の借入れを抑制し基金の積み立てを行う

将来の人口推計に伴う財政力をどのように考え、何に重点を置くのか

決算のあらまし等中学生でも理解できる財政白書をつくり、市民の司法的権力を促すべきではないか。

答 重要であり研究する。公共施設396、指定管理63ヶ所の維持管理費合わせて年間約20億円。将来の財政状況に鑑み計画的に削減すべきでは。

問 所管で検討する。各支所での生活相談の質の向上について

答 高齢化率が進む3町2村での生活相談への対応に保健師やケースワーカーの支所への配置が必要ではないか。

答 あらゆる角度で検討

バイオマス発電所計画はどうなった

答 採算性の観点から完全に中止した



森 茂 生



林業振興について

問 国有林野管理経営法が改正され、今までは20ha程度を毎年度入札にかけていた。これが数百ha、しかも50年間切っ払いですよとなっている。国有林を全伐するという発想だ。さらに問題なのは伐採後、植林を義務づけせず、植林することを「申入れ」になっているのでは。

答 「申入れ」になっている。国民健康保険について

問 国保税の均等割は子どもが増えるたびに一人分の税金が取られ、まさに少子化に逆行する制度である。だからこそ全国

知事会、市長会も見直しを国に求めている。八女市独自でも均等割を減免するべきだ。そのためにはいくらの予算が必要か。

答 全額免除したら5200万円の予算が必要である。

レセプト点検について

問 交通事故の場合、治療費は原則損害保険で見るとはいいが、国民健康保険での治療が優先されるべきだが、国民健康保険財政を圧迫する原因にもなっている。第三者求償を強めるべきだ、そのためにはレセプト点検を強化するべきでは。

答 厳正なる審査を続ける。

読んでみたくなる紙面とは

〈議会だより編集委員会〉

◆宇美町

福岡市から約15km離れた位置にあり、人口3万7千人強の町である。平成30年度町村議会広報全国コンクールで奨励賞を受賞されたこともあり、委員の自信と意欲が感じられた。何よりも、原稿から印刷完了するまで全ての工程で、委員自らの手で行われていることには大いに刺激を受けた。表紙は、タイトルを「こんにちはうみ議会です」と改め、「子どもの笑顔」をテーマに、笑顔いっぱい組写真で構成され、読んでみたくなる工夫を感じさせられる。更には、インタビュ記事に掲載するなど、方針である「手に取って読みたい」なる議会広報づくりを「に通じるところが随所に見られ、大いに参考になった。

◆古賀市

福岡市のベッドタウンとして、人口約5万9千人だが現在も増加しており、元気を感ずる市の一つである。福岡県内議会の中で、議会改革に早くから取り組んでおられ、今回は議会だよりとしての視察ではあるが、期待感をもって伺った。当市と同じく表紙のみフルカラー印刷、その他は2色刷りで、宇美町同様、ほとんどの工程を委員が行っている。年4回の発行ごとに2色刷りの色に変化をつけることで、季節感と新鮮さをもたらすアイデアが加味されている。平成18年には、講師を招き議会だよりのクリニックを受け、研究と改善策を講じていることは感銘を受けた。

《視察を終えて》

両議会に共通することは、常任委員会として議会だよりそのものの意義や存在感あるいは議会における位置づけを、それぞれが明確にしている。また、いかにより多くの人たちに読んでいただけるかを、常に模索しながら熱意をもって研究していることには、驚異と感銘を受けた。当市としても、原点に戻り、議会だよりが、市民の皆さまの期待と楽しみに繋がる存在になるよう、具体的な取り組みを図りたい。



▲視察先にて